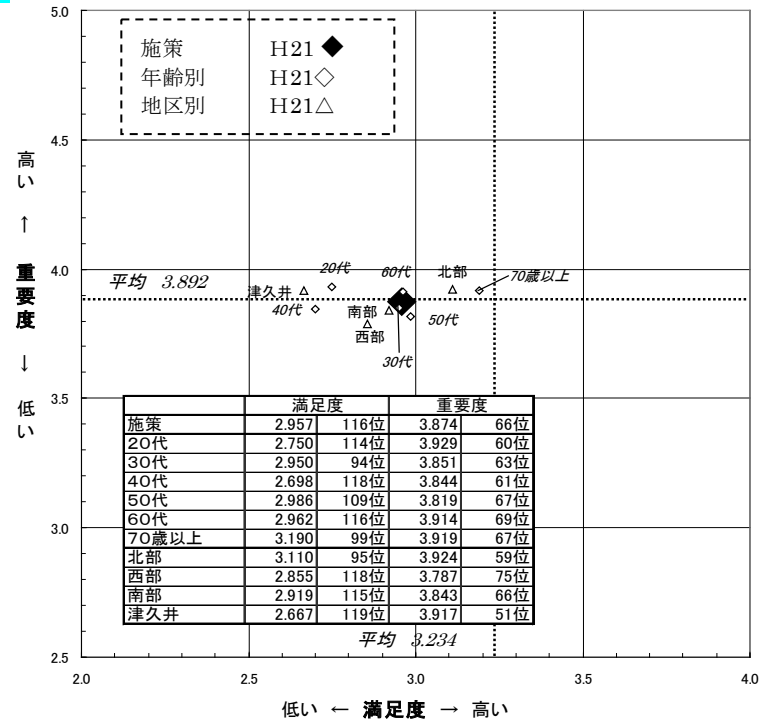




### 5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

○この施策の満足度は2.957で全119施策の中で116番目。  
 ○重要度は3.874で66番目である。  
 ○改善要望度は0.183で29番目である。

利便性の高い公共交通網の整備



### 6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 2 1	4 2 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4 2 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 1	4 2 1	満足度調査では、「バス路線の増強と、バス本数の増加」など、バスに関する意見が29件あることから、バスに対する要求度の高さが伺える。 しかし、これらの回答者の中には、一定のサービス水準が確保されたバス路線においても、さらなる利便性の向上を求めていることが想定され、有効性や効率性の評価点の高さからも、この施策の第一目的である「交通不便地区の解消」に対する評価としては相応しくないと考える。
合計		9	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)	
				1次評価 A

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

### 7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	点在する交通不便地区での生活交通の確保や高齢化の進展にあわせた交通の確保
解決策	バス交通基本計画を策定するにあたり、効率的なバス路線網計画やそれを補完するコミュニティ交通の導入などについて検討する。

### 8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

		2次評価 A
--	--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

### 9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

		3次評価 A
--	--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向